

2年	科目	英語W	講義	通年	担当	M,D 藤井数馬 / E 福島礼子 / S, C 廣田友子 (M,D) FUJII, Kazuma / (E) FUKUSHIMA, Ayako / (S, C) HIROTA, Tomoko
全学科共通		English Writing	必修	2履修単位		
授業の概要						
<p>高専1年までに学んだ学習事項を基盤にして、問題演習を通じた英文法の定着、そしてその文法知識を用いて、自分や身近なことを英作文を通して自己表現できる力を養うことを目的とした科目である。前期で高校英文法の基礎を一通り終えて、後期は1～2年生の英語Wの復習として、英作文を書くことに重点を置く。宿題を定期的に行うことで、英文法の定着を目指す。英語をアウトプットするためには豊富なインプットが必ず必要になってくることから、問題演習にとどまらず、音読、筆写、多読、多聴、暗唱等の活動を適宜導入していく。また、自己表現の場として、協同学習的(グループ活動、ペア活動)を適宜取り入れていく。</p>						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
	○	4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標(プログラム対象科目のみ)	実践指針(プログラム対象科目のみ)		実践指針のレベル(プログラム対象科目のみ)			
授業目標						
<p>1. 本科目で扱う英文法を理解できる。                  2. 既習の英文法を使い、平易であっても理解可能な英語で英作文ができる。                  3. 総合英語と合わせTOEIC Bridgeで140点以上の英語力を身につけることを目標とする。</p>						
授業計画						
第1回	第19章	関係詞(3)				
第2回	Plus	関係詞				
第3回	第20章	比較(1)				
第4回	第21章	比較(2)				
第5回	Plus	比較				
第6回	第22章	仮定法(1)				
第7回	第23章	仮定法(2)				
第8回	前期中間試験					
第9回	Plus	仮定法およびテスト返却・解説				
第10回	Option①、②	名詞、代名詞				
第11回	Option③、④	形容詞・副詞、接続詞				
第12回	Option⑤、⑥	前置詞、疑問詞と疑問文				
第13回	Option⑦、⑧	否定、様々な構文				
第14回	Option⑨、⑩	時制の一致と語法、動詞と文型				
	前期末試験					
第15回	Lesson 1, 2	英語の語順に慣れよう、文をふくらませる(1)				
第16回	Lesson 3, 4	文をふくらませる(2)、文型の展開(1)				
第17回	Lesson 5	文型の展開(2)、文型の展開(3)				
第18回	Lesson 6	文型の展開(3)				
第19回	Lesson 7	文型の展開(4)				
第20回	Lesson 8	隠れた主語を補う				
第21回	Lesson 9	Itを使う				
第22回	後期中間試験					
第23回	Lesson 10	無生物を主語にする、およびテスト返却・解説				
第24回	Lesson 11	否定表現の使い方				
第25回	Lesson 12	「時」をいつにするか				
第26回	Lesson 13	能動態と受動態				
第27回	Lesson 14	自分にとって表現しやすい形で書く				
第28回	Lesson 15	日本語を言い換える				
第29回	Lesson 16	日本語と英語の意味の違い				
	後期末試験					
第30回	テスト返却	テスト返却、解説、アンケート等				
評価方法と基準	<p>定期試験および随時実施する小テスト 80%                  平常点(課題取り組み状況、授業態度、学習意欲、出席状況、忘れ物等) 20%                  6割以上の修得で合格とする。</p>					
教科書等	『アトラス総合英語』(桐原書店)、『アトラス総合英語Compass Workbook』(桐原書店)、『アトラス総合英語Compass in 23 Lessons』(桐原書店)、『A New Passport to English Composition』(教研出版)					
備考	<p>1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。                  2. 授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。                  3. 複数の担当者で授業を持つため、進度はクラスで異なることがある。</p>					